

水稻生育情報 No.3

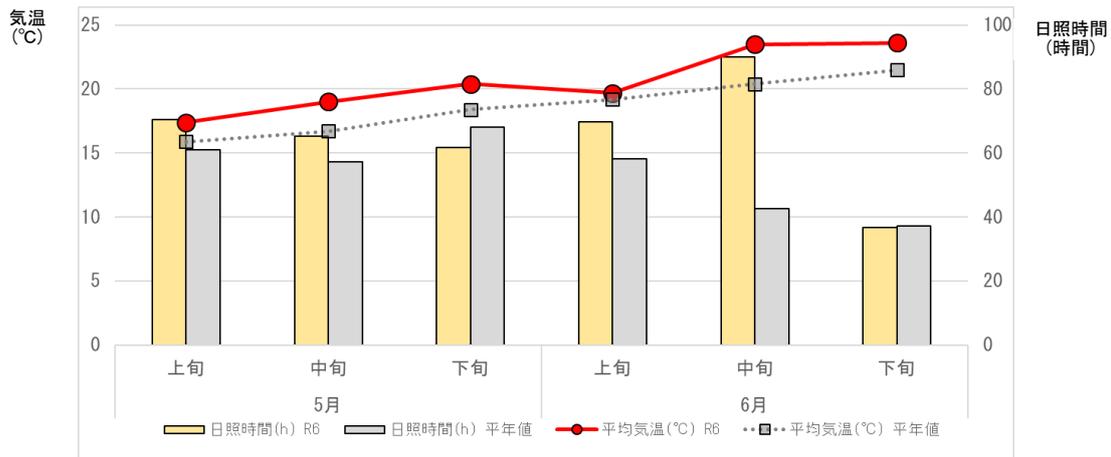
発行日：令和6年7月2日
 県央農林事務所 経営・普及部門
 (水戸地域農業改良普及センター)
 TEL: 029-227-1521

出穂までは間断かんがいを実施しましょう

【気象概況】 (7月1日現在) ※水戸气象台データより

6月中旬から6月下旬(6/11~6/30)にかけての水戸市の気象は、平年に比べて平均気温は全期間を通して高く、日照時間は中旬が多く、下旬は平年並であった。

また、6月下旬の降水量は、平年と比べて211%と多かった。



【生育概況】 (7月1日現在)

管内の「コシヒカリ」定点圃場は平年に比べて草丈はやや長い~極く長い、茎数は平年並~多い、葉色は淡い~平年並である。

また、5月上旬移植の「コシヒカリ」定点圃場では1mm以下の幼穂が確認されており、出穂期は7月下旬見込みとなっている。

「コシヒカリ」定点調査圃場の生育調査結果 (7月1日)

調査地点	年度	移植日 (月/日)	移植日から調査日までの日数	栽植密度 (株/坪)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	茎数 (本/株)	葉色 (カラー スケール)
水戸市 坏大野	R6	5/4	58日	51.6	66	606	39	3.7
	平年値	5/4	58日	51.7	61	598	39	3.7
茨城町 上石崎	R6	5/3	59日	52.3	70	430	27	3.8
	平年値	5/9	53日	55.1	55	460	28	3.7
小美玉市 上玉里	R6	5/19	43日	52.9	71	428	27	4.8
	平年値	5/23	39日	56.8	47	389	23	4.7
那珂市 鹿島	R6	5/21	41日	52.8	58	482	30	3.5
	平年値	5/26	36日	51.0	42	399	26	4.1

[今後の栽培管理]

1 適切な水管理の実施

- ・ 5月上旬に移植した「コシヒカリ」は、幼穂形成期となっています。中干しを終了し、入水と自然落水を繰り返す間断かんがいを行きましょう。
- ・ 5月下旬に移植した圃場で分けつが少ない場合には、浅水管理により分けつを促進しましょう。

2 穂肥の適正施用

品種	コシヒカリ	ふくまる
穂肥時期	出穂前 15 日頃（幼穂長 30 mm）	出穂前 18 日頃（幼穂長 5～10 mm）
穂肥施用量	窒素成分量で 1～2 kg/10a	窒素成分量で 1.5～3 kg/10a
判断基準	出穂前 20 日（幼穂長 4～10mm）の時点で <u>草丈 80cm 以上、葉色 4 を超える場合は、倒伏の恐れがあるため穂肥を控えます。</u>	出穂前 18 日頃に、 <u>葉色 4.5 を超える場合には、倒伏の恐れがあるため穂肥を控えます。</u>

3 病害虫の発生に注意し、必要に応じて防除を実施しましょう。

◆病害虫発生予報 7月号（令和6年6月27日発表）

- いもち病（葉いもち）： 平年並
- 斑点米カメムシ類： 多い
- 縞葉枯病： 平年並～やや多い
- ニカメイガ： 平年並
- イネツトムシ： 平年並